

# K 危険予知トレーニングで事故ゼロへ！ 夜間の高齢歩行者

Y 事故を未然に防ぐために、予測される危険や  
危険を避けるための運転について考えてみましょう。



協力：(公財)交通事故総合分析センター

## Q

### どのような危険があり、どういった運転をする必要がありますか？



### 交通状況

- 夜間の配送が終わり、会社に帰るところです。
- 郊外の閑散とした、街灯のない片側1車線の道路を走行しています。
- 道路の先の左側に営業中のコンビニがあります。

## A

### このような危険が！

- ✓ **右から横断してきた歩行者との衝突**
  - 夜間、横断中の高齢歩行者と四輪車との衝突は典型的な事故のひとつ。特に歩行者が右側から横断するパターンが多い。理由として、高齢者は一般的に歩行速度が低下し、渡り切る前に接近する車と衝突する可能性がある。
  - ヘッドライトが照らす範囲外は暗く、横断してきた人に気づきにくい。



### このような運転を！

- ✓ **周囲が暗く見えづらい夜間は、いつも以上に注意**
  - コンビニ、店舗周辺は人や車が集まる場所である。そのため、横断しようとする歩行者や無灯火の自転車がいないか十分確認する。
- ✓ **明るい場所をじっと見つめるのを控え、速度を落とし周囲の安全を確認**
  - 暗い環境の中に明るい店舗があると、その明るさに目を奪われ、危険を見落とす可能性がある。

参考：イタルデザインフォーメーション No.118「高齢歩行者の道路横断中の事故」

【お詫びと訂正】

6月号(雨天時、停車車両の陰からの横断者)の解答「このような運転を！」において、道路交通法第38条第2項の内容に基づき、お詫びし訂正させていただきます。

9 誤：制限速度を守った上でいつでも止まれるように。→ 正：信号のない横断歩道直前の停車車両の側方を通過するときには、その車の前方に出る前に一時停止すること。